

令和4年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1 児童の状況及び実態

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への興味関心が高く、すすんで学習に取り組んでいる。 ・授業中に積極的に手を挙げて発言している児童が多い。 ・五十音の読み書きに個人差があり、書き順の間違いや字の乱れ、誤字脱字が見られる。 ・長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞「は」「を」「へ」の使い方が十分に身に付いていない。 ・相手に応じた話し方や話し手を見て最後まで集中して聞く姿勢に課題がある。 ・自分の思いや考えを言葉でうまく表現できない児童がいる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習に興味をもち、楽しみながら学習に取り組んでいる。 ・分からない問題でも自分で解決策を見付けながら学習に取り組むことができる。 ・10までの数の合成や分解をまだ十分に理解できていない。 ・指を使って計算する児童がいる。 ・文章題を読み取れず、正しく立式することができない。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語彙の量を増やし、話や文の中で正しく使う力 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさずに最後まで聞く力 ・自分の考えをもち、言葉で表現する力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝え合おうとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・マス黒板や書画カメラを活用し、字形や書き順、促音等を書く場所を確認し、正しく書けるように繰り返し指導する。 ・言葉集めや言葉遊びを行い、書くことを楽しみながら文字を覚えたり、語彙の量を増やしたりしていく。 ・友達の発表を聞いて、質問や感想を伝える活動を多く取り入れることで、話を最後まで聞く姿勢を養う。 ・児童の実態に合ったモデル文やワークシートを作成し、書き方の指導を行う。 ・話型を示し、ペアや少人数で話す機会を多く設けることで、児童が安心して話せるようにする。
算数	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく計算する力 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末や計算カード、計算スキル等を用いて、朝学習や家庭学習で繰り返し練習を行う。 ・具体物や半具体物の操作、デジタル教科書のアニメーション機能の活用により、題意を捉えやすくする。また、問題文の数量や演算決定のキーワードに着目させ、印を付けさせることで視覚的にも捉えやすくする。 ・授業の終わりに振り返りの時間をとることで、学んだことを明確にし、次時の学習や生活に生かしていけるようにする。

